

2020年度（2021年3月期）

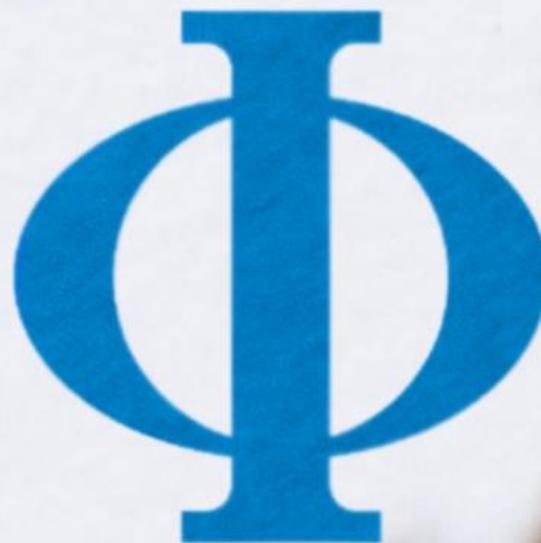
決算説明会 連結

株式会社フコク(東証第一部:5185)

2021年6月4日

ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます



Agenda

1. 決算のポイント
2. 2021年3月期実績
3. 2022年3月期業績予想
4. セグメント別・地域別の状況
5. 取り組み内容
6. 株主還元方針

1. 決算のポイント



1. 決算のポイント

2021年3月期実績

売上高は下期より受注が回復傾向に転じたものの、コロナウイルス感染拡大により上期に受けた影響は大きく、完全に挽回するまでには至らなかった。受注の大幅減に対し、損益分岐点売上高を引き下げるべく生産工程合理化、多能工化、間接業務効率化、人員配置適正化等の取り組みにより収益力を確実に向上させ、黒字を維持。

中間配当は無配とさせていただきましたが、期末配当は中計の連結配当性向30%を前倒しして、22円を予定しております。

2022年3月期予想

今期は受注回復と更なる拡販による売上増を見込むほか、引き続き体質改善に取り組み、損益分岐点の引き下げを図る。売上高700億円、営業利益33億円を目指す。年間配当は、連結配当性向30%の方針に沿って、40円を見込んでおります。

2. 2021年3月期実績



2. 2021年3月期実績

業績概要（連結）

（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期		
	実績	実績	前年増減額	前年増減率
売上高	74,839	63,214	△11,625	△15.5%
営業利益 (売上高対営業利益率)	878 (1.2%)	693 (1.1%)	△185 (△0.1pp)	△21.1%
経常利益 (売上高対経常利益率)	979 (1.3%)	1,435 (2.3%)	456 (+1.0pp)	+46.6%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	309 (0.4%)	1,254 (2.0%)	945 (+1.6pp)	+305.7%

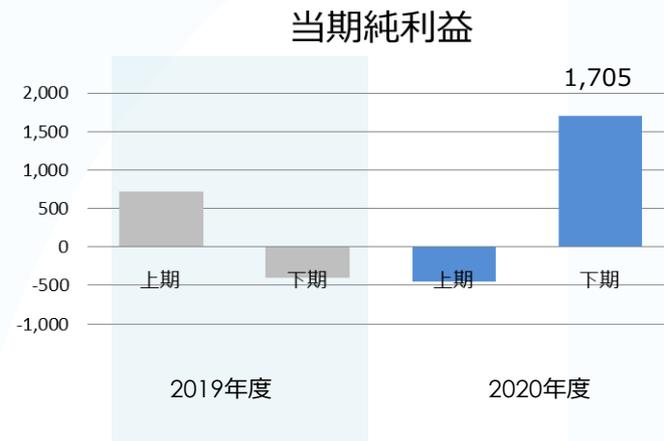
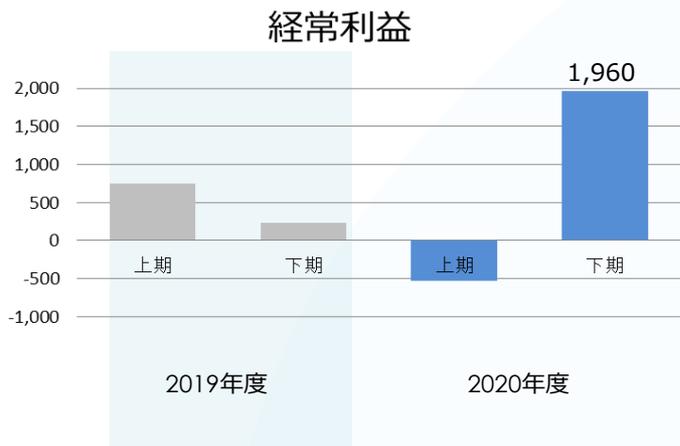
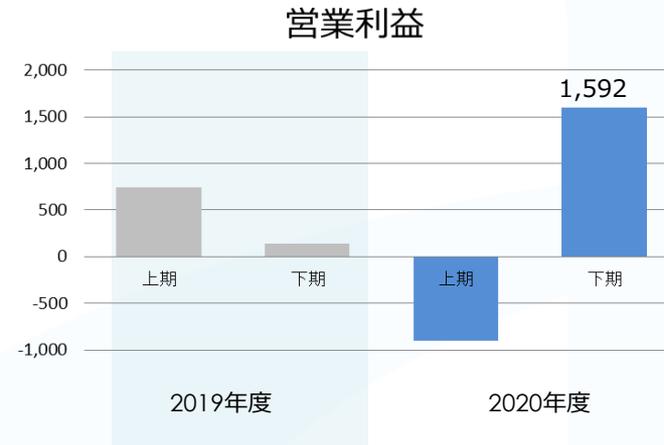
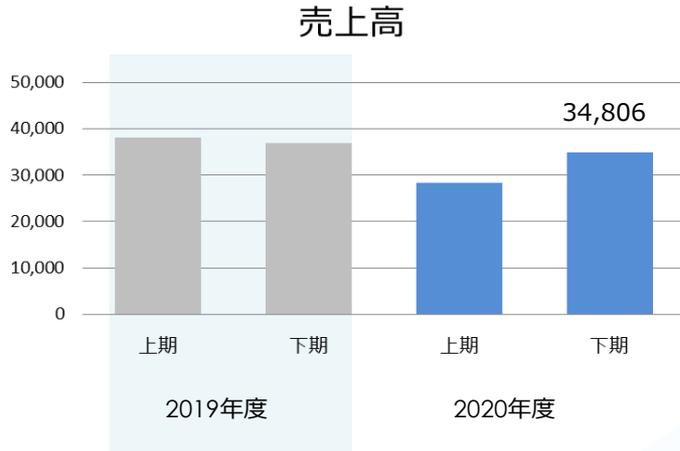
※pp=パーセンテージポイント

体質改善の成果により売上高大幅減の中でも営業利益を確保

2. 2021年3月期実績

経営実績推移 (連結・半期)

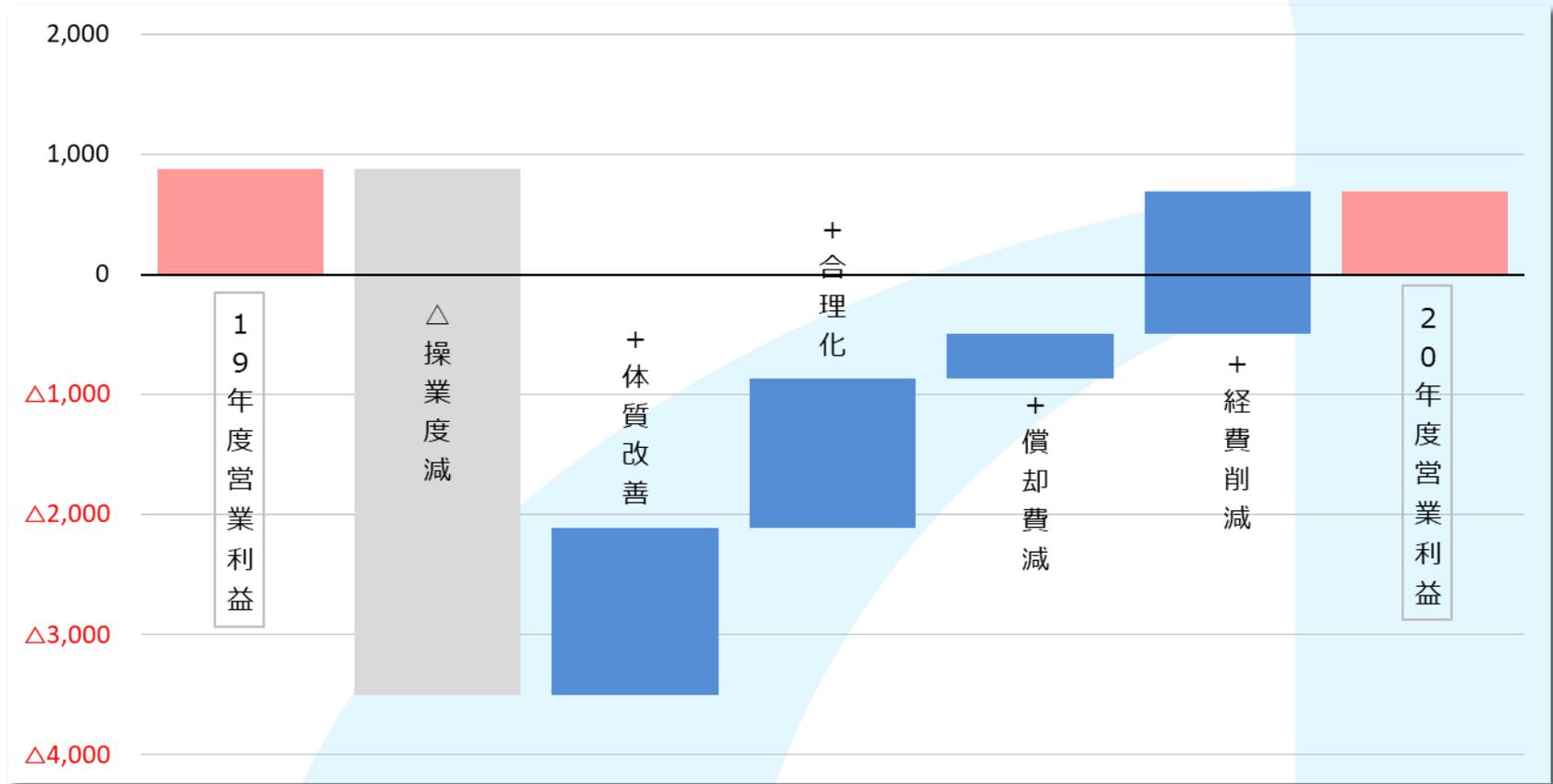
(単位：百万円)



2. 2021年3月期実績

差異要因_連結営業利益（前年比）

（単位：百万円）



2. 2021年3月期実績

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年増減額
現金及び預金	9,314	8,992	△ 322
受取債権	18,219	18,713	493
棚卸資産	7,686	7,251	△ 434
その他流動資産	1,102	1,261	159
流動資産計	36,323	36,218	△ 104
有形固定資産	26,577	25,184	△ 1,393
その他固定資産	2,345	2,414	69
固定資産計	28,923	27,599	△ 1,324
資産計	65,246	63,817	△ 1,428
借入金	12,891	12,089	△ 802
支払債務	10,738	9,441	△ 1,296
その他流動固定負債	9,675	9,965	289
負債計	33,305	31,496	△ 1,808
株主資本計	29,246	30,348	1,101
非支配持分	2,447	2,235	△ 211
その他	247	△ 262	△ 510
純資産計	31,941	32,321	380
負債・純資産計	65,246	63,817	△ 1,428

- 体質改善の取り組みで棚卸資産を圧縮
- 原価低減、経費削減で支払債務が減少
- 収益改善で株主資本は増加

キャッシュ・フロー (単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績
税前利益	551	1,417
減価償却費	4,849	4,344
売上債権の増(△)減(+)	1,246	△ 633
棚卸資産の増(△)減(+)	△ 177	297
仕入債務の増(+)減(△)	△ 2,158	△ 663
その他	77	△ 8
営業活動によるC F	4,389	4,754
有形固定資産の取得	△ 6,419	△ 4,325
その他	△ 32	298
投資活動によるC F	△ 6,451	△ 4,026
借入による収入	3,948	3,050
借入金の返済による支出	△ 2,226	△ 3,636
その他	△ 448	△ 273
財務活動によるC F	1,274	△ 859
フリー・キャッシュ・フロー	△ 2,062	728

- 改善活動に取り組んだ結果、フリー・キャッシュ・フローが改善
- コロナ禍で設備投資は抑制
- 収益改善で借入金の返済が進む

3. 2022年3月期業績予想



3. 2022年3月期業績予想

業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期 実績	2022年3月期		
		予想	前年増減額	前年増減率
売上高	63,214	※ 70,000	+6,786	+10.7%
営業利益 (売上高対営業利益率)	693 (1.1%)	3,370 (4.8%)	+2,677 (+3.7pp)	+386.2%
経常利益 (売上高対経常利益率)	1,435 (2.3%)	3,500 (5.0%)	+2,065 (+2.7pp)	+143.9%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	1,254 (2.0%)	2,200 (3.1%)	+946 (+1.1pp)	+75.4%

※ 収益認識基準を適用済み
 ※ pp=パーセンテージポイント

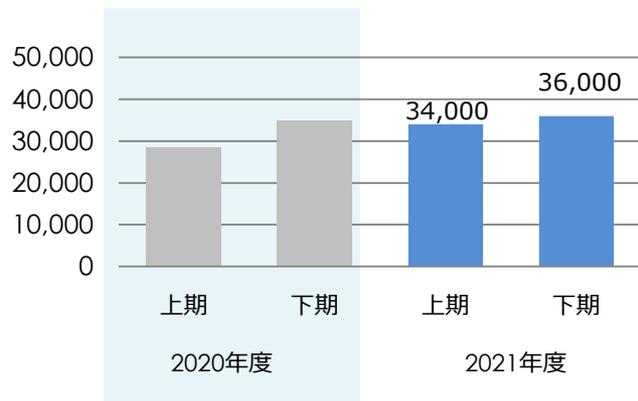
売上回復に加え、体質改善の効果により増益を見込む

3. 2022年3月期業績予想

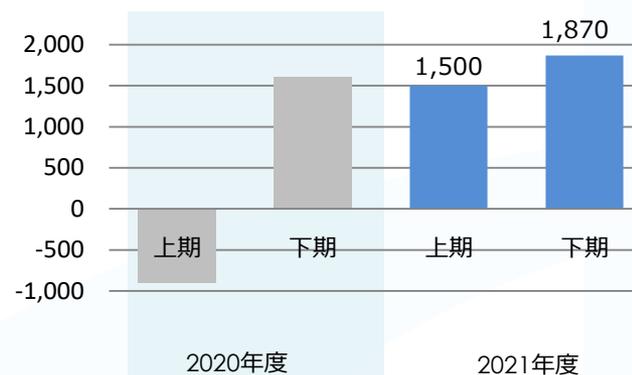
経営予想推移 (連結・半期)

(単位：百万円)

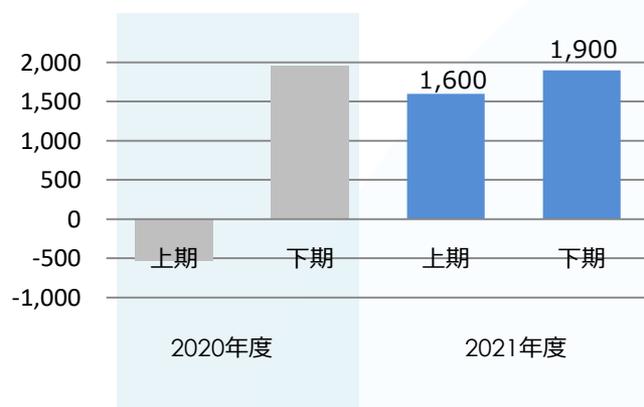
売上高



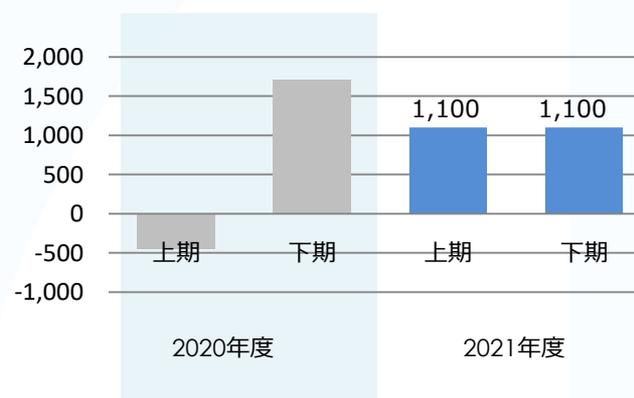
営業利益



経常利益



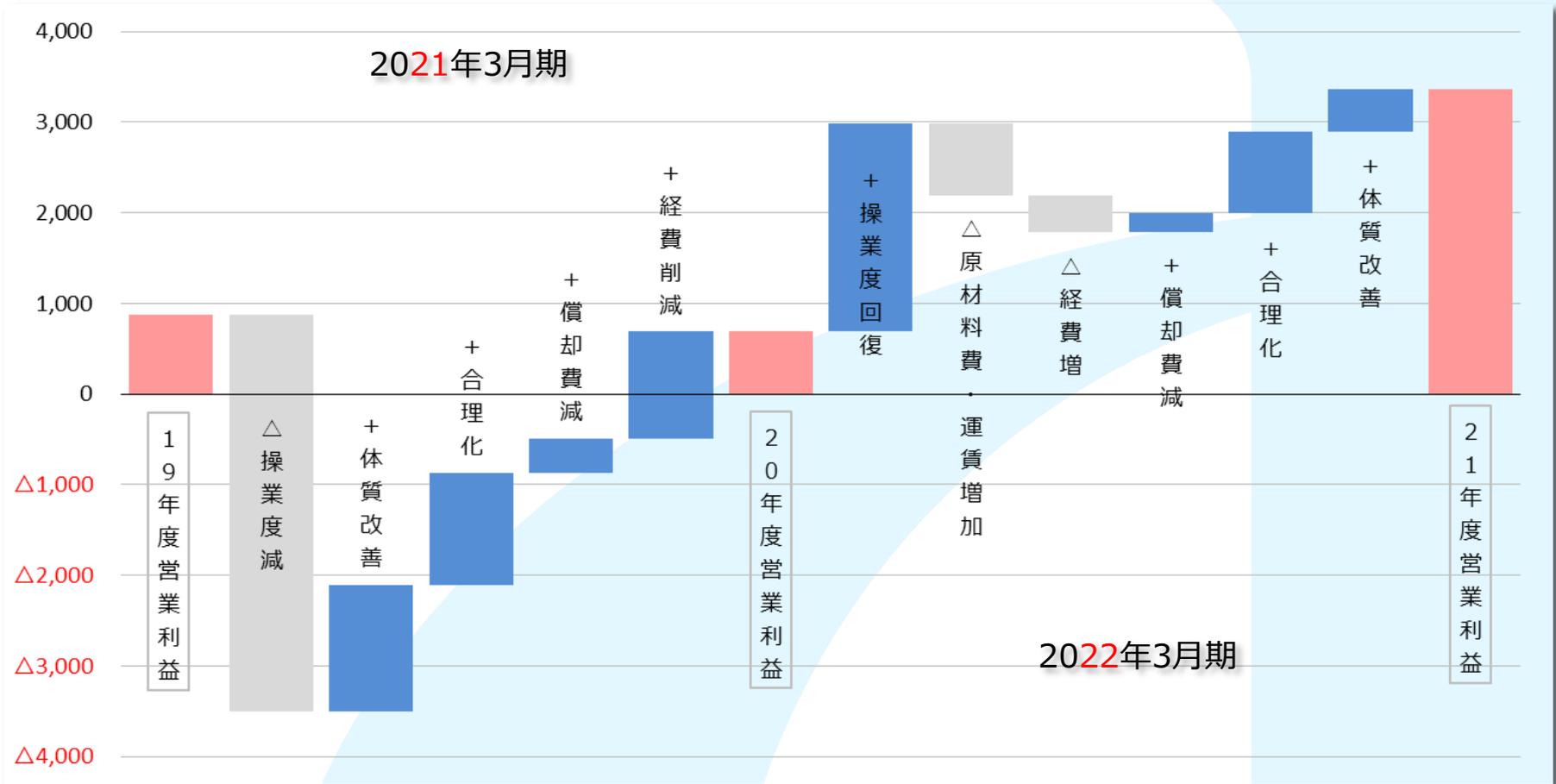
当期純利益



3. 2022年3月期業績予想

差異要因_連結営業利益 (前年比)

(単位：百万円)



4. セグメント別・地域別の状況



4. セグメント別・地域別の状況

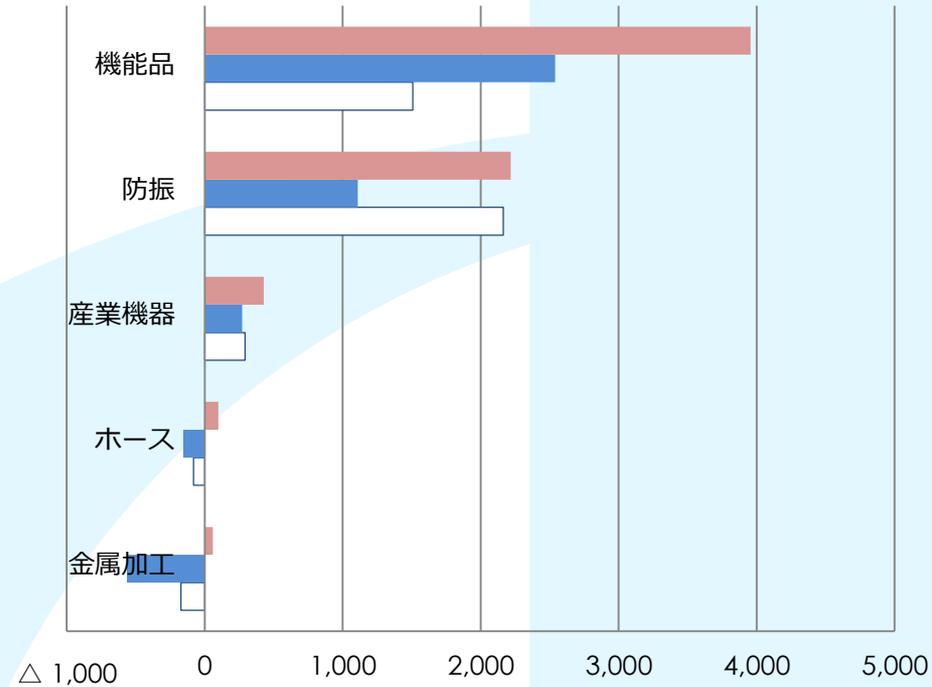
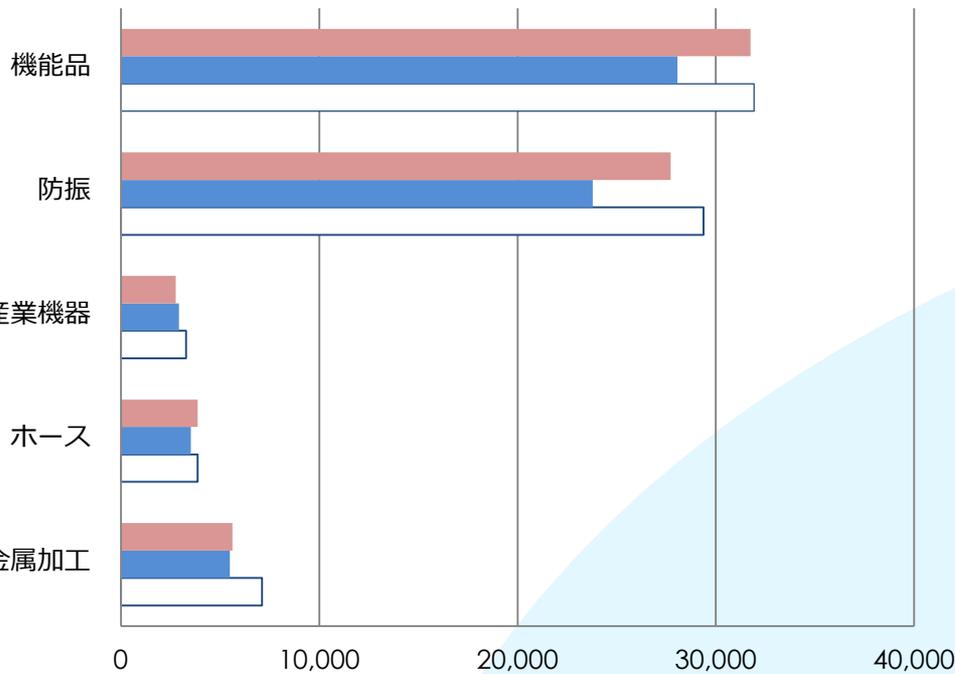
セグメント別

■ 2022年3月期
■ 2021年3月期
□ 2020年3月期

(単位：百万円)

売上高

営業利益



※ 連結調整考慮前

すべての事業セグメントで黒字化を目指す

4. セグメント別・地域別の状況

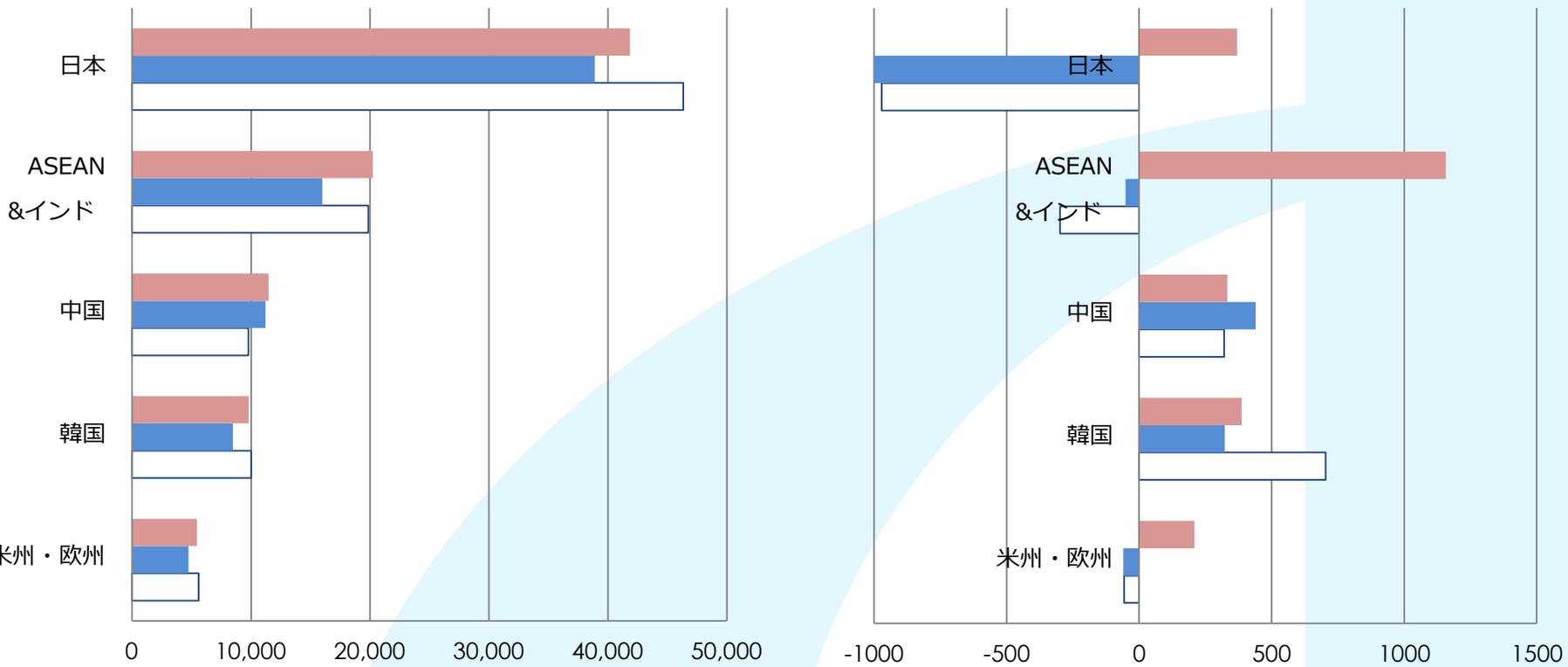
地域別

■ 2022年3月期
■ 2021年3月期
□ 2020年3月期

(単位：百万円)

売上高

営業利益



※ 連結調整考慮前

すべての地域で黒字化を目指す

5. 取り組み内容



5. 取り組み内容 新製品開発



ヒト脂肪由来幹細胞順化培養液
Phicello
ファイベル

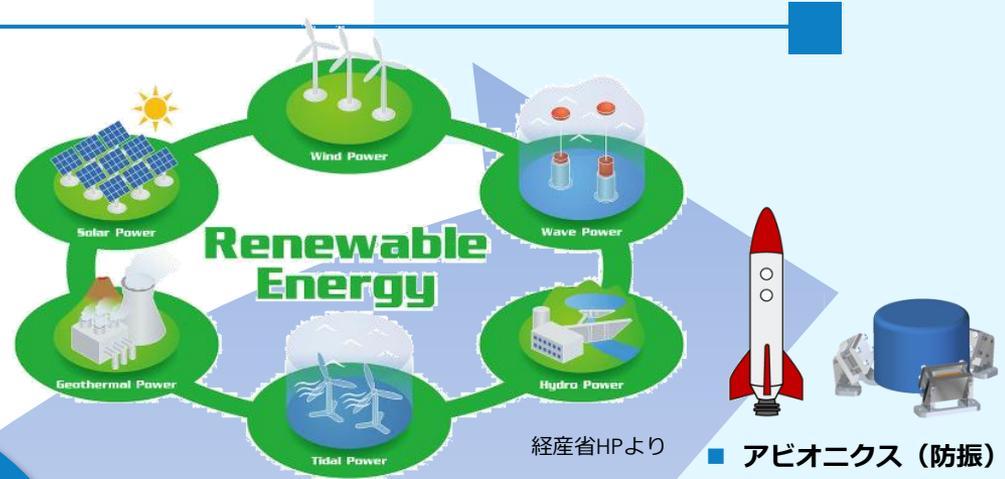
ヒト脂肪間質細胞エクソソーム
Phisome
ファイソーム

- 美容液
- 液体培地
- 細胞培養バッグ
- 空間除菌霧化装置



RAST-TAS®

- 細菌感染症用検査キット



Renewable Energy

Solar Power, Wind Power, Wave Power, Hydro Power, Tidal Power, Geothermal Power

経産省HPより

- アビオニクス (防振)

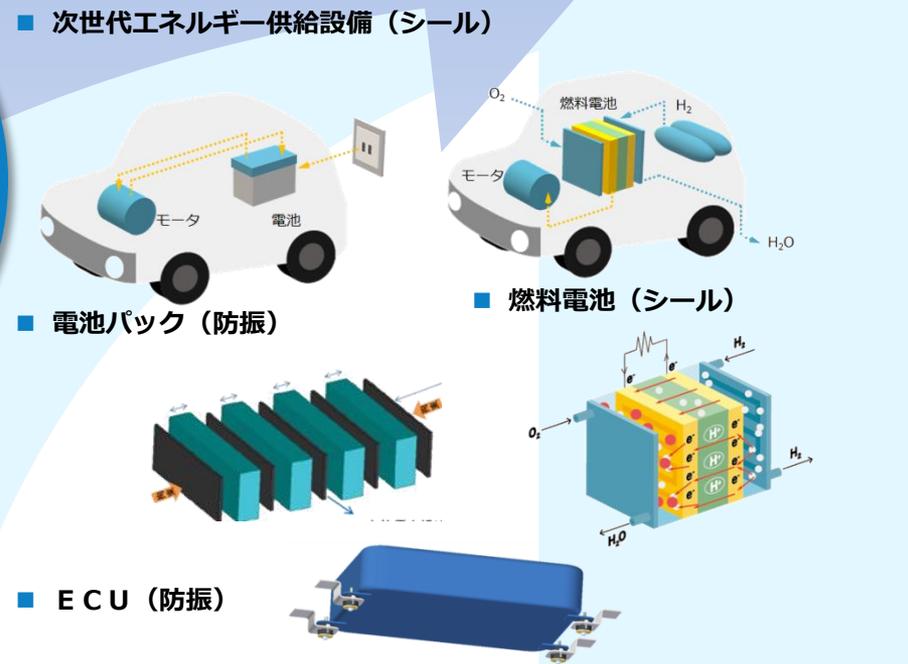


共創

既存事業の
“深化”
 コア事業で収益拡大

共創活動によるビジネス革新

世の中の課題へ
 Solution提供
“新化”
 将来に向けた種まき



■ 次世代エネルギー供給設備 (シール)

■ 電池パック (防振)

■ 燃料電池 (シール)

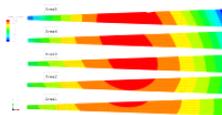
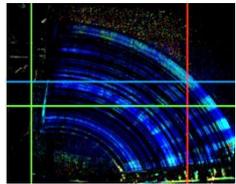
■ ECU (防振)

CASE 対応製品でビジネス拡大

5. 取り組み内容 新技術開発

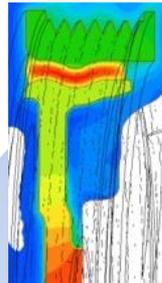
■ シミュレーション深化

● ワイパー水膜解析



■ モノ造りの変革（無人）

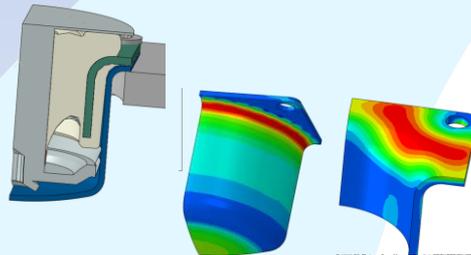
● 振りりダンパー 発熱解析



● ゴム流動解析



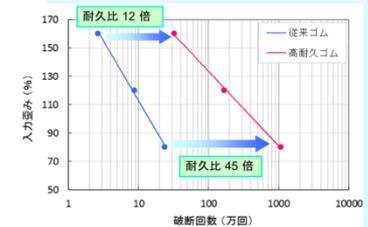
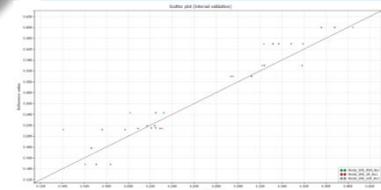
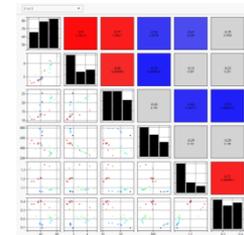
● 液封マウント解析



共創活動によるビジネス革新

既存事業の
“**深化**”
コア事業で収益拡大

世の中の課題へ
Solution提供
“**新化**”
将来に向けた種まき



■ 材料技術 MI 高寿命化（従来比45倍）



差別化技術を磨きあげて競争力強化

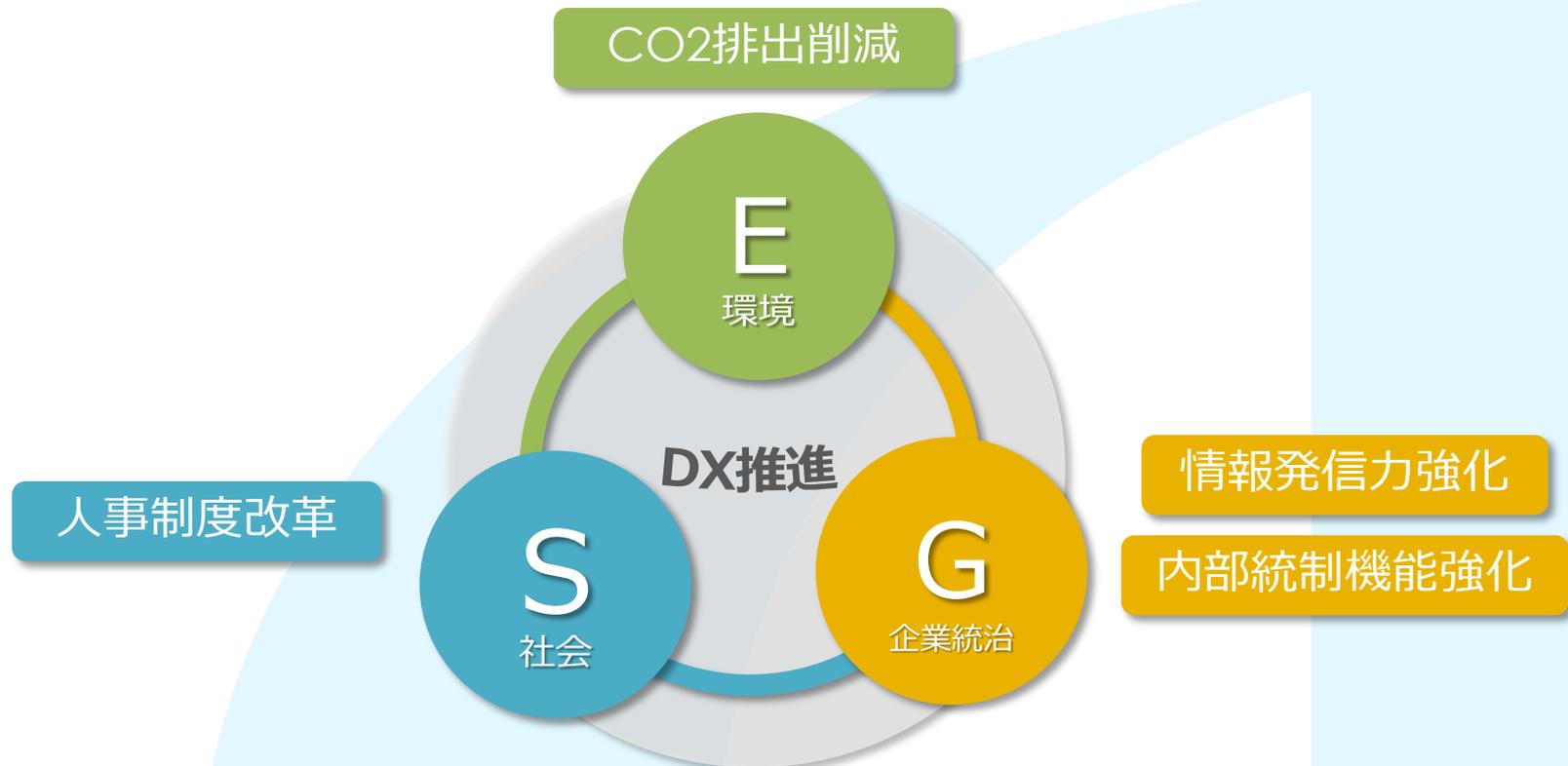
5. 取り組み内容 ESG

カーボンニュートラル対応

- 環境プロジェクト部門を新設し、ゴム廃棄物、CO2排出量を削減

DX対応

- DX戦略課を新設し、基幹システムの全面刷新、デジタル技術活用による生産性向上を推進



6. 株主還元方針



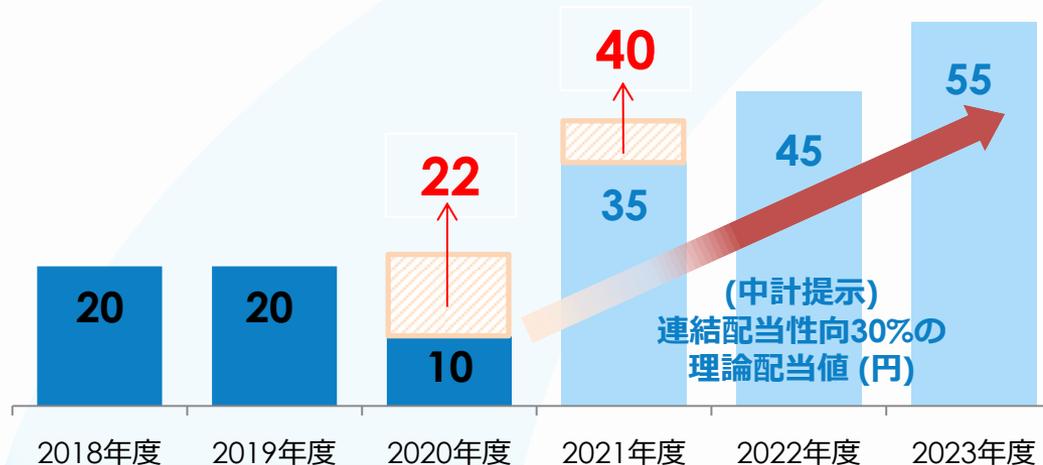
6. 株主還元方針

配当政策の基本方針

- **連結配当性向30%**を目安に安定配当を継続
(1株当たり年間20円を下限※) ※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

1株当たり配当金について

- 2021年3月期：連結配当性向30%を前倒し実行し、直近予想より12円増の22円を予定
- 2022年3月期：連結配当性向30%に準じ、前年差18円増及び中計提示差5円増の40円を計画



6. 株主還元方針

中期経営計画

	実績 (21年3月期)	計画 (22年3月期)	目標値 (24年3月期)
連結売上高	632億円	700億円	800億円
経常利益率	2.3%	5.0%	7.0%
ROE	4.2%	6.0%	8.0%
連結配当性向	29.1%	30%	30%

株価水準の適正化

「PBR = 1.0倍」を目指す

- 2020年度実績の一株当たり純資産は1,814円33銭であり、2021年6月3日の終値は980円のため、結果、PBR = 0.54倍に留まっている
- 最低1.0倍以上の適正水準を目指し、中期経営計画の確実な実行と、経営情報の積極的な発信を行う



ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます

注意事項

◆本資料には、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報に鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

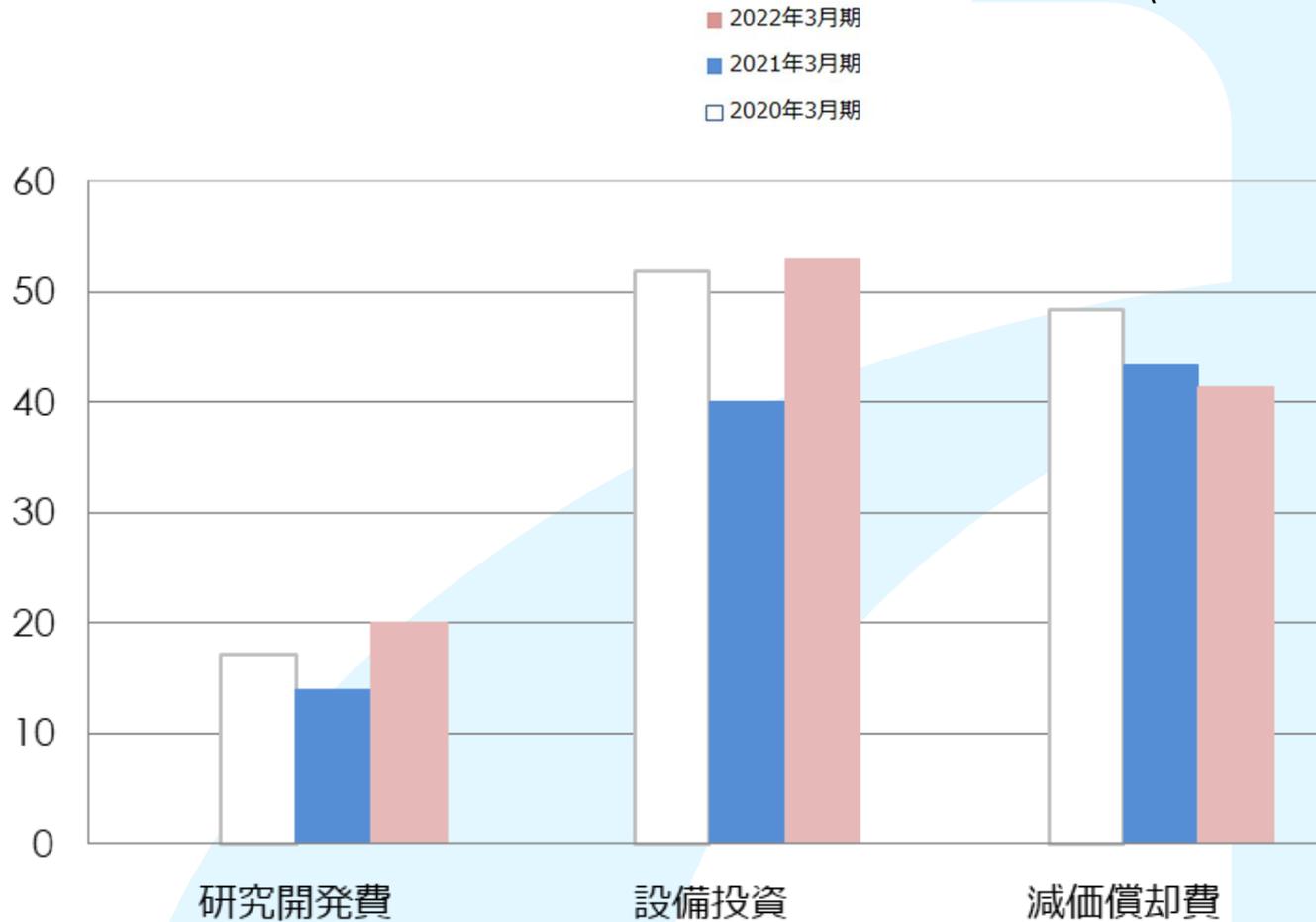
Appendix



1. その他指標

研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)



2. 会社概要

会社概要

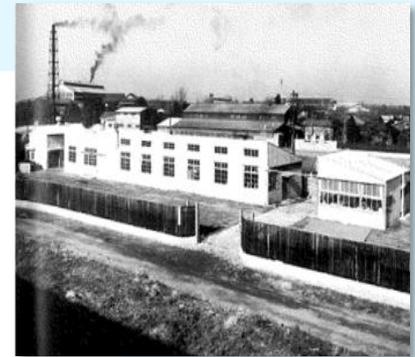
会社名	株式会社フコク
設立	1953年12月24日 (創業68年目)
代表者	代表取締役社長 小川 隆
本店所在地	埼玉県上尾市
従業員数	連結 4,893名、単体 1,192名 ※ 2021年3月31日現在、正規従業員のみ
事業概要	ゴム製品、金属・合成樹脂製品、 OA・電子機器・医療用具の製造販売 等
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
資本金	13億9,535万円
発行済株式数	17,609,130株
株主数	16,950人 ※ 2021年3月31日現在
拠点・ 関係会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ フコク国内拠点 <ul style="list-style-type: none"> - 5工場、2事業所 等 ・ 関係会社 <ul style="list-style-type: none"> - 連結子会社：国内2社、海外15社 - 持分法適用会社：海外1社



2. 会社概要

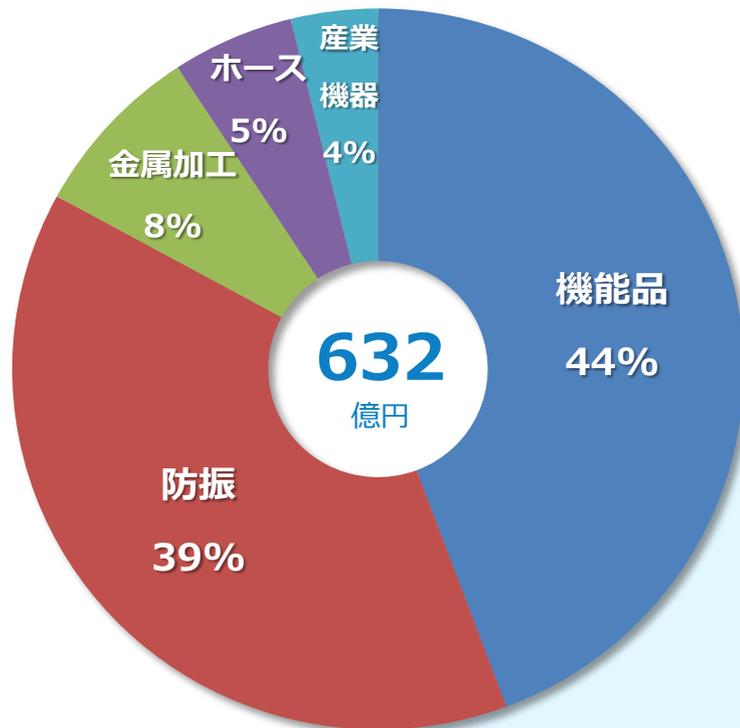
沿革

1953年	12月	創業者の河本 栄一が富国ゴム工業株式会社を設立
1956年	4月	ワイパーブレードラバーの技術開発に成功
1972年	9月	末吉工業株式会社に資本参加
1983年	1月	タイ国バンコク市に合併会社タイフコク株式会社設立
1986年	1月	株式会社フコクに商号変更
1994年	10月	日本証券業協会に株式を店頭登録
1996年	2月	株式会社東京ゴム製作所に資本参加
2004年	3月	東京証券取引所 市場第二部に上場
2005年	3月	東京証券取引所 市場第一部に上場
2020年	6月	経済産業省より『2020年版グローバルニッチトップ企業100選』に当社が選定
2020年	7月	小川 隆が代表取締役社長に就任



2. 会社概要

事業別売上（2020年度 連結）



機能品



ワイパーブレードドラバー



等速ジョイント用樹脂ブーツ



ダイヤフラム

防振



ダンパープーリー



V-ロッド



ビスカスマウント

金属加工



燃料タンク



プロペラシャフト

産業機器



プリンターローラー



超音波モータ



培養バッグ



液体培地

ホース



インタークーラーホース

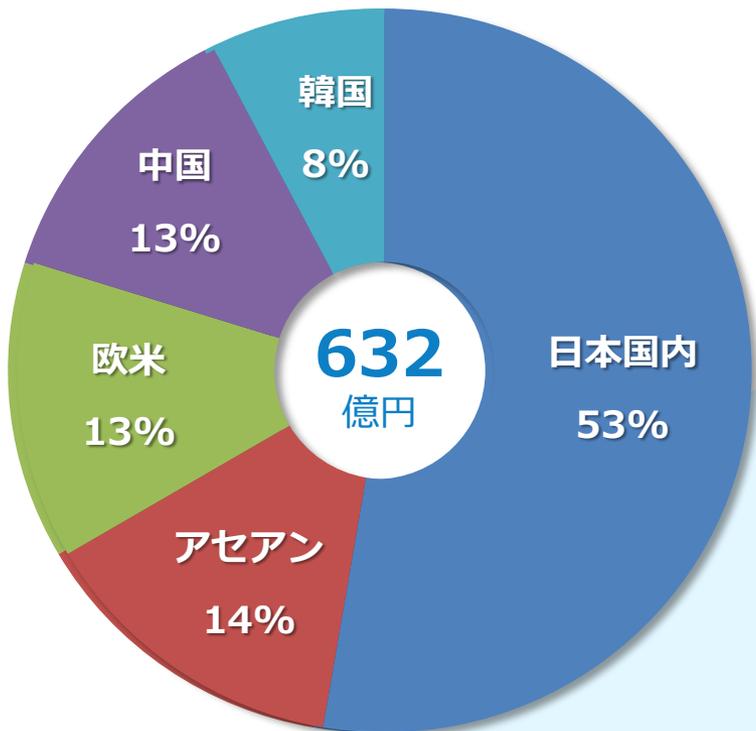


ウォーターホース

2. 会社概要

地域別売上（2020年度 連結）

グローバルネットワーク



※顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。



- | | | | | | |
|--|-------------|---|-----------------|---|---------------|
|  | 日本
1953年 |  | アメリカ
2001年 |  | ベトナム
2011年 |
|  | タイ
1983年 |  | 中国
2001年 |  | メキシコ
2014年 |
|  | 韓国
1987年 |  | インドネシア
1997年 |  | インド
2010年 |
| | |  | | | チェコ
2014年 |

2. 会社概要

当社の強み ■ 自動車分野

世界
シェア※
(%)

※当社推計

クランクシャフト
ダンパー



15%

ワイパーブレードラバー



50%

ダイヤフラム



30%

ピストンシール



17%

等速ジョイント用
樹脂ブーツ



12%

インゴットワイヤーソー
メインローラー



30%

細胞培養バッグ



35%

ビスカスマウント
(建機用)



70%

ニッチな分野で高シェア製品を数多く輩出

2. 会社概要

当社の強み

経済産業省より、国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち
ニッチ分野において高いシェアを確保し良好な経営を実践している企業として
「**2020年版経済産業省グローバルニッチトップ企業 100選**」として選ばれました！



以下審査基準を基に、
外部有識者で構成する
選定評価委員会の審議を経て選定。

1. 世界シェアと利益の両立
2. 技術の独自性と自立性
3. サプライチェーン上の重要性